



伝統的な街並みへの関心が高まる中で、本格的な補修もありうるが、お金をかけずに上から貼るという方法もある、という発想が面白い。それなりに見られる外観になっており、街づくりの参考となる作品で、見事な変身である。

リフォーム前後の写真

## Before



## After



### リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

歴史的まちなみを構成する伝統的な町屋を大切に将来へ伝えていく…というコンセプトをもとに設計・施工に取り組みました。お施主様より、スッキリとした外観が良い。二階のサッシは替えたくない。とのご要望。

腰までを杉板貼り、腰から上を漆喰調で仕上げ、二階サッシはご要望通り既存の物を使用しましたが、内部に障子を取り付けることで一段と和の雰囲気を出す事が出来ました。

また、腰壁・漆喰・サッシだけでなく、花や小物などを飾れる様にショーケースを造り、家の前を通る方も季節ごとに楽しめる

特に配慮した住宅性能：

### データ

所在地	長崎県平戸市	構造／築後年数	在来木造／30年
該当工事面積	52 m <sup>2</sup> ／総工事床面積 52 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	380 万円／総工事費 533 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人／65歳以上： 人／15歳未満： 人／ベット：		
設計者	(株)中野組	担当者	村上 勝也
施工者	同上	担当者	

外観となりました。昔を思い出させるような、1600年代初頭「純和風」の魅力あるまちなみを再現する事が出来ました。

### リフォーム前

### リフォーム後



改修前立面図 S=1:100

改修後立面図 S=1:100